

「地域を支える建設業」検討会議

第 47 回全体会議

長野県提出資料

県資料 1	令和 4 年度 11 月補正予算について	… 1
県資料 2	建設工事の総合評価落札方式における評価項目の見直しについて	… 5
県資料 3	資源有効利用促進法省令の改正について	… 7
県資料 4	市町村における週休 2 日工事の実施状況について	… 8
県資料 5	建設産業の次世代を担う人材確保の取組について	… 9



©長野県アルクマ
長野県 PR キャラクター「アルクマ」

治水 ONE
NAGANO

～みんなでとりくむ『流域治水』～

長野県は『流域治水』を推進しています！



Youtube で
動画配信中！

令和4年度 11月補正予算案(第4号)について

建設政策課

補正内容

- 長野県価格高騰緊急対策【第三弾】の実施 1,278万 4千円
 価格高騰の影響を受ける指定管理者の業務継続を支援
 ・風越公園、飯田運動公園、松本平広域公園、烏川溪谷緑地、若里公園
- 県有施設における原油価格等高騰対策の実施 7,011万 2千円
 価格高騰の影響を受ける道路照明灯等の電気料を増額
- 社会資本整備の前倒し（債務負担行為 14億円）
 安全で円滑な交通の確保や観光地等へのアクセス向上のほか、春夏の観光シーズンに向けて事業効果の早期発現を図るため、道路の舗装補修や区画線補修を前倒して発注
- 県営都市公園の指定管理委託料（債務負担行為 1億5,750万円）
 烏川溪谷緑地の管理費用について、債務負担行為を設定

補正予算案

1 歳入歳出予算

会 計 名	補正前 (A)	11月補正予算案 (第4号) (B)	補正後 (A)+(B)
一 般 会 計	1,244 億 2,641 万 8 千円	8,289 万 6 千円	1,245 億 931 万 4 千円

【性質別内訳】

区 分	補正前 (A)	11月補正予算案 (第4号) (B)	補正後 (A)+(B)
そ の 他 行 政 費	86 億 3,625 万 8 千円	8,289 万 6 千円	87 億 1,915 万 4 千円

2 債務負担行為

区 分	補正前 (A)	11月補正予算案 (第4号) (B)	補正後 (A)+(B)
公 共 事 業 費	790 億 957 万 8 千円	14 億 円	804 億 957 万 8 千円
そ の 他 行 政 費	17 億 537 万 9 千円	1 億 5,750 万 円	18 億 6,287 万 9 千円
合 計		15 億 5,750 万 円	

令和4年度 11月補正予算案 追加分(第5号)について

建設政策課

補正内容

今般策定した「長野県総合経済対策」に基づく施策を速やかに実施するため、国の補正予算を最大限活用して必要な予算を計上

○ 防災・減災対策 331億 6,686万 7千円（債務負担行為 22億 7,000万円）

激甚化・頻発化する災害に備えるため、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく、道路・河川等の老朽化対策や道路ネットワークの強化、流域治水対策等を実施

○ 交通安全対策、リニアアクセス道路の整備 13億 5,267万円

通学路の歩道設置やリニア中央新幹線開業を見据えたアクセス道路等を整備

○ 直轄事業負担金 56億 6,893万 3千円

国が補正予算により実施する直轄事業(道路・河川・砂防・災害関連等)に係る負担金を追加

補正予算案

1 歳入歳出予算

会計名	補正前 (A)	11月補正予算案 (第5号) (B)	補正後 (A)+(B)
一般会計	1,245億 931万 4千円	401億 8,847万 円	1,646億 9,778万 4千円

【性質別内訳】

区分	補正前 (A)	11月補正予算案 (第5号) (B)	補正後 (A)+(B)
補助公共事業費	624億 1,369万 8千円	345億 1,953万 7千円	969億 3,323万 5千円
直轄事業負担金	181億 7,496万 8千円	56億 6,893万 3千円	238億 4,390万 1千円

2 債務負担行為

区分	補正前 (A)	11月補正予算案 (第5号) (B)	補正後 (A)+(B)
公共事業費	804億 957万 8千円	22億 7,000万 円	826億 7,957万 8千円

3 前年度予算比較（国補正対応分）

区分	R3. 11月補正予算額 (A)	R4. 11月補正予算案 (第5号) (B)	差引増減 (B)-(A)	前年度比 (B/A) %
補助公共事業費	350億 5,438万 9千円	345億 1,953万 7千円	△ 5億 3,485万 2千円	98.5
直轄事業負担金	46億 5,997万 1千円	56億 6,893万 3千円	10億 896万 2千円	121.7
合計	397億 1,436万 円	401億 8,847万 円	4億 7,411万 円	101.2

令和 4 年（2022 年）12 月 16 日

建設部 各課（室・局）長 様
建設部 現地機関の長 様

建設部長

令和 4 年度 11 月補正予算の執行について（通知）

令和 4 年度 11 月補正予算は、物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策として「国民の安全・安心の確保」を柱の一つにして編成された国の補正予算に対応するものであり、その効率的、効果的な活用のためには、円滑かつ迅速な執行が重要です。また、人材・資機材の効率的な活用や処遇改善のため、発注及び施工時期の平準化を引き続き推進する必要があります。

それらを踏まえ、11 月補正予算に係る建設部の執行方針を下記のとおり定めましたので、計画的かつ着実な執行に努めてください。

記

1 執行方針

特別な事情があるものを除き、原則として、令和 5 年 3 月末までに全ての箇所を公告するとともに、予算額の 5 割以上を契約することを目標とする。

2 平準化の取組方針

債務負担行為や早期契約制度又はフレックス工期契約制度の活用等により、発注及び施工時期の平準化に努める。

3 施工確保の取組

円滑な事業執行のため、発注業務にあたっては、別紙「令和 4 年度 11 月補正予算の施工確保の取組」に留意のこと。

建設政策課 技術管理室
坂口 一俊（室長）
北村 雄一、三宅 隆徳（企画班）
電話：026-235-7294 防災無線：8-231-3327
中村 昌貴、後藤 庸介（入札・契約班）
電話：026-235-7313 防災無線：8-231-3346
e-mail gijukan@pref.nagano.lg.jp

令和4年度11月補正予算の施工確保の取組

主な施工確保の取組

(1) 適正な予定価格の設定

- ・ 資材価格の上昇が継続しているため、資材単価の迅速な改定と最新単価を用いた発注。
- ・ 標準歩掛や材料単価と実勢価格の乖離があり、不調・不落が発生、もしくは見込まれる場合は、見積を徴取し予定価格を設定。

(2) 適正な工期設定

- ・ 工事の円滑かつ適切な執行のためのみならず、長時間労働を防ぎ週休2日が確保されることを前提とした工期を設定。

(3) 技術者等の効率的活用

- ・ フレックス工期契約（施工期限選択可能）制度は原則適用し、工事選択可能期間の拡大（30%又は60日以内→120日以内）は継続。また、年度内に契約する案件は、工事開始時期を次年度にできるよう運用を緩和。
- ・ 技術者を効率的に配置できるようにするため、主任技術者の兼務の取扱いを緩和。（2件まで→災害復旧工事を含む場合は3件まで）

(4) 地域の実情等に応じた適切な規模と内容での発注

- ・ 工事の発注量や労務の需給に係る状況等から技術者や技能労働者の不足が懸念される地域では、地域の実情等に応じた適切な規模での発注。
- ・ 不調・不落抑制に向け、状況に応じて、交通や生活圏を考慮しつつ応札が見込める範囲への地域要件を拡大するなど、要件設定を緩和。
- ・ 発注規模の大型化や入札参加者数の確保を図るため、上位等級工事への参入を拡大した特例発注標準を適用。

(5) 地域の建設業者の受注機会の確保

- ・ 地元建設企業の受注機会を確保するため、総合評価落札方式（地域貢献等簡易型）の適用価格帯を拡大。（土木一式工事：5千万円→8千万円）

建設工事の総合評価落札方式における 評価項目の見直し（若手技術者の配置（試行））

若手入職者の減少と高齢者の離職により技術の継承ができなくなり、建設業者の施工能力や品質管理への影響が懸念されるため、総合評価落札方式における価格以外の評価点（評価項目）を見直します。

1 現状と課題

- 総合評価落札方式において、主任技術者として若手技術者を配置することを評価する取り組みを、平成 27 年 10 月から開始。更に、加点点評価を平成 29 年 4 月から試行。しかし、年間約 30 件の試行において加点点を申請する者は、2 割未満状況が続いている。（応札者のうち、加点点申請者の率 R1：15.6%、R2：11.8%、R3：12.5%）
- 若手技術者の配置を評価する機会を増やすことで、技術の継承を進めるとともに、活躍の場を確保する。

2 見直し内容（案）

【見直し】

- 若手技術者（40 歳未満）の主任技術者への配置を評価することに加え、若手技術者（35 歳未満）の現場代理人への配置について評価する。（年間 30 件程度で試行）

（現行）		（見直し後・R5.4 頃～）	
評価項目	評価点		評価点
若手技術者（40 歳未満）の主任技術者の配置	0.5	➡	0.5
若手技術者（35 歳未満）の現場代理人の配置	-		0.25

※35歳未満の若手技術者が主任技術者と現場代理人を兼任する場合は、評価点の高い項目のみ加点点（0.5 点）する。

【継続】

- 主任技術者に実績の少ない若手技術者（40 歳未満）を配置した場合、現場代理人の持つ資格、実績（工事成績、優良表彰）で評価（全案件対象）

3 実施（予定）時期

令和 5 年 4 月頃（令和 4 年度第 3 回契約審議会後の予定）

建設工事の総合評価落札方式における 評価項目の見直し（ICT活用工事）

建設工事におけるICT技術の活用推進を図るため、総合評価落札方式における価格以外の評価点（評価項目）を見直します。

1 現状と課題

- 令和2年9月から、総合評価落札方式（工事成績等簡易型）において、「ICT活用工事の実績」を加点評価する取組を開始。
- 県内企業のICT技術の活用拡大を図るため、「ICT活用工事の実施方針」では、対象工種を拡大するなど順次見直しを進めている。
- ICT活用工事の実施率は、年々増加傾向が見られるが、1割程度と低い状況である。（実施率 R1：1.8%、R2：5.6%、R3：10.1%）

2 見直し内容（案）

- 「建設マネジメント」の加点項目として、「ICT活用工事の実績」を評価することに加え、「当該工事において、ICTを活用することを誓約する者」を新たに評価する。
- 加点評価する工事の価格帯を8,000万円以上から5,000万円以上へ拡大する。
- 対象工事及び評価点

評価項目	(現行)	(見直し後・R5.10頃～)
	評価点	
建設マネジメント ICT実績	8,000万円以上 0.25	5,000万円以上 0.25
建設マネジメント ICT活用（誓約）	—	5,000万円以上 0.25
技術者要件 ICT実績	8,000万円以上 0.5	5,000万円以上 0.5

- ※ 建築工事及び当該工事の主たる部分にICT技術を活用できない工事を除く
- ※ ICT活用（誓約）は、発注者が公告で指定した工事に限る。誓約内容が履行されなかった場合は、減額変更や工事成績のマイナス評価等の措置をとる。

3 実施（予定）時期

令和5年10月頃（令和4年度第3回契約審議会後の予定）

「資源有効利用促進法」を知っていますか？

「資源有効利用促進法（資源の有効な利用の促進に関する法律）」では、建設工事の発注者及び受注者に建設副産物の発生抑制と再利用の促進に努めることを求めています。

- 資源有効利用促進法政省令の一部改正がされました。(公布：R4.9.2／施行：R5.1.1※)【下線部が改正点】
- 今後、盛土規制法の施行に合わせ、更に資源有効利用促進法省令の改正を予定しています。

※施行日以降に契約する工事に適用

(1) 発注者、事業者の責務（発注者、元請及び下請企業）

原材料の使用の合理化や再生資源の利用に努める

- ・資源有効利用促進法では発注者及び受注者に対して、原材料の使用の合理化や再生資源の利用に努めることを求めています。

(2) 契約の際に実施すること（元請及び下請企業）

指定副産物の処理に要する経費の見積りを適切に行う

- ・元請及び下請企業は、請負契約を締結するに際して、運搬費その他指定副産物の処理に要する経費の見積りを適切に行うよう努めることとなっています。

(3) 施工前に実施すること（元請企業）

再生資源利用促進計画・再生資源利用計画の作成等

- ・元請企業は、一定規模以上※の工事を施工する場合、再生資源利用促進計画及び再生資源利用計画を作成し、発注者へ提出、説明のうえ公衆の見やすい場所へ掲示することとなっています。
- ・また、工事現場において責任者を置くなど管理体制を整備し同計画の事務を適切に行うこととなっています。

(4) 竣工後に実施すること（元請企業）

再生資源利用促進計画・再生資源利用計画の実施状況の記録・保存等

- ・元請企業は、再生資源利用促進計画及び再生資源利用計画の実施状況を把握して記録し、工事完成後5年間(改正前は1年)保存することとなっています。
- ・また、発注者から請求があったときは、計画の実施状況を発注者に報告することとなっています。

※計画の作成を要する一定規模以上の工事

《再生資源利用促進計画（建設副産物を搬出する際の計画）》

計画を作成しなければならない工事	計画に定める内容
次のような指定副産物を搬出する工事 1. 土砂 …… 500m ³ 以上 (改正前は1,000m ³) 2. Co塊 } As塊 } …… 合計200t以上 建設発生木材 }	1. 指定副産物の種類ごとの搬出量 2. 指定副産物の種類ごとの再資源化施設又は他の工事現場等への搬出量 3. その他、建設副産物に係る再生資源の利用の促進に関する事項

《再生資源利用計画（再生資材を利用する際の計画）》

計画を作成しなければならない工事	計画に定める内容
次のような建設資材を搬入する工事 1. 土砂 …… 500m ³ 以上 (改正前は1,000m ³) 2. 砕石 …… 500t以上 3. 加熱アスファルト混合物 …… 200t以上	1. 建設資材ごとの利用量 2. 利用量のうち再生資源の種類ごとの利用量 3. その他、再生資源の利用に関する事項



市町村における週休2日工事实施状況

R4.11技術管理室調べ（全町村へのアンケート調査結果）

【実施方法】

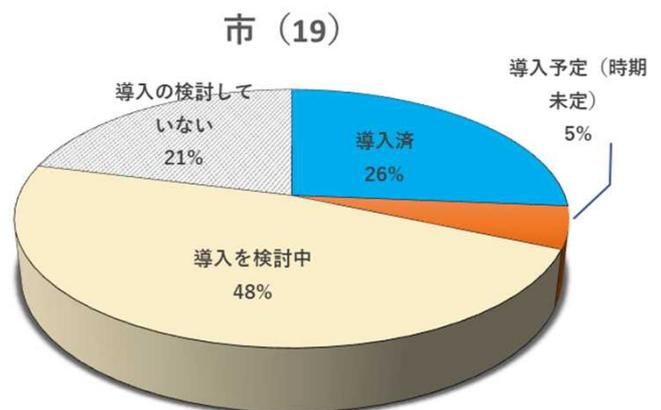
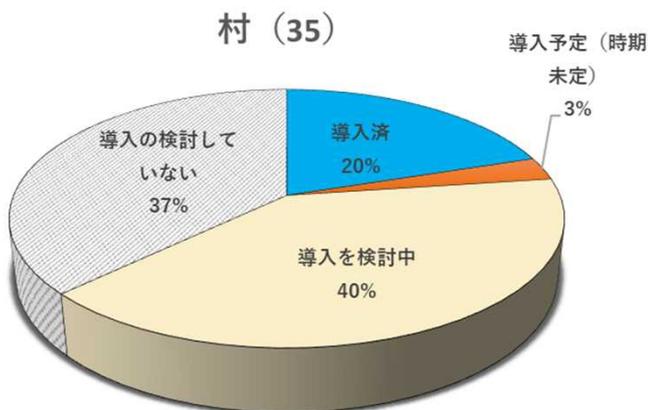
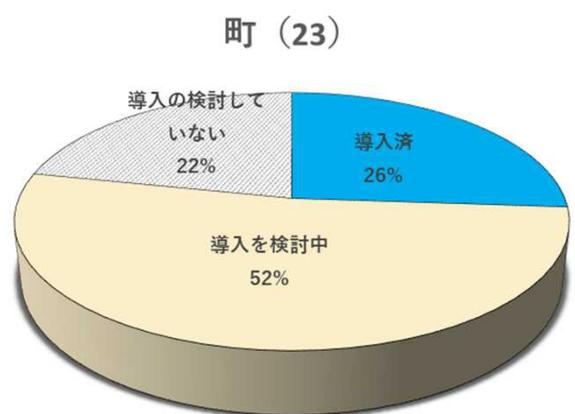
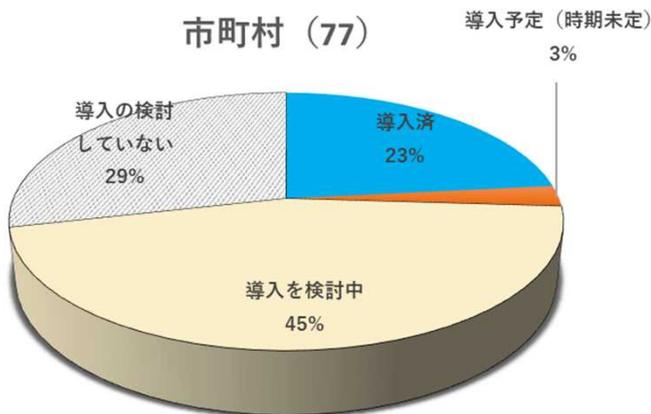
全77市町村から構成される発注者協議会を通じてアンケート実施
 電子申請方式によるWEBアンケート
 令和4年11月15日に依頼して12月8日に全団体から回答回収

【調査結果】

- ・ 77市町村から回答を得た（回答率100%）
- ・ 導入済みの市町村が全体で23.4%（18団体）（市：5、町：6、村：7）
- ・ 導入予定は時期未定を併せて全体で2.6%（市：1、町：0、村：1）
- ・ 検討中が全体で45.5%（市：9、町：12、村：14）

【考 察】

- ・ 課題は導入予定がない団体が28.6%も存在する点（市：4、町：5、村：13）
- ・ 「予定無し」「検討しない」と回答した自治体に対しては、導入の必要性についての周知と導入あたっての支援。特に導入予定の無い4市へは積極的な周知を図る。
- ・ 「検討中」の自治体に対しては、国や他県の最新の動向等の情報提供と導入に向けた支援を行う。



(様式3) 令和4年度 就労促進に係る取組の概要 (実施予定・実績報告)

○ 令和4年度に新たに実施する取組の列を【ピンク】に着色してください。

(赤色着色) R4新規

○ 完了した取組の列を【水色】に着色し、参加人数を記入してください。

(網掛け) 完了

784 (参加人数)

○ 修正がある取組は【朱書き】で上書きし、セルを【黄色】に着色してください。

(黄色着色) 変更/追加

令和4年11月30日時点まとめ

担当事務所	実施高校	項目	実施概要	時期(月)	期間	対象学年	予定人数(人)	参加実績(人)	場所	協力団体	
佐久	佐久平総合技術高等学校 (遠隔キャンパス) 食農クリエイト科 環境共生コース	現場見学	建設現場見学会等(農村整備・インフラ整備等)	6月10日	1日	3年	18	18	佐久地域	建設業協会佐久支部・南佐久支部	
		企業実習	インターンシップ	6月7~9日	3日	3年	希望者	4	佐久地域	建設業協会佐久支部・南佐久支部	
		現場見学会	建設現場見学会等(農村整備・インフラ整備等)	11月10日	半日	2年	21	22	佐久地域	建設業協会佐久支部・南佐久支部	
上田	上田千曲高等学校	現場見学	現場見学	5月25日(水)	1日	3年	39+2	37	長野南警察署 上田市給食センター	建設業協会 上小支部	
		企業実習 (インターンシップ)	インターンシップ	7月27日(水)	1日	2年	39	3	各事業所	建設業協会	
		資格関係講習 (施工管理)	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級建築施工管理技士(学科)	8月上旬	3日	1年 2年 3年	希望者		長野市内	建設業協会 本部	
		企業説明会		11月~12月	半日	1・2年	80+6		校内	建設業協会 上小支部	
		意見交換・交流等		11月~12月	2時間	職員	6		建設業会館	建設業協会 上小支部	
	丸子修学館高等学校	実務実習/現場 (測量設計等)	三次元測量、BIM/CIM講習	9月~11月	約2日間	2年 3年	25名 25名		校内	測量設計業協会 東信支部	
		専門講習/室内 (測量設計等)	上記実務実習と合わせて実施								
		企業実習 (インターンシップ)	インターンシップ	8/1~17	約2日間	2年	16名		上田市内	ハローワーク (予定)	
		資格関係講習 (施工管理)	2級土木施工管理技士(学科) 2級建築施工管理技士(学科)	夏季休業中 8/1~8/12	5日間	2年 3年	10名		長野市	建設業協会 本部	
		行政説明会	行政説明会	通年	1時間	2年 3年	3名 3名		校内	上田建設事務所	
諏訪	富士見高校		測量実習、ドローン講義・実習	10月or11月 コロナの影響により今年度、中止		3	13	富士見高校	長野県測量設計業協会(南信支部)		
伊那	上伊那農業高等学校	現場見学	建設現場	6月2日	半日	2学年	20	16	中川村	建設業協会伊那支部	
		現場見学	建設現場	6月14日	半日	3学年	20	19	中川村	建設業協会伊那支部	
		実務実習 (測量設計等)	先端測量技術	12月	半日	2年	20		本校校内	測量設計業協会南信支部	
		実務実習 (工事施工等)	丁張実習	7月12日	半日	3年	20	14	上伊那地域	建設業協会伊那支部	
		実技講習 (重機操作等)	大型重機体験	秋	半日	2年	20		本校校内	建設業協会伊那支部	
		企業実習 (インターンシップ)	就労希望者の体験	夏or春	3日以上	全学年	希望者		上伊那地域	建設業協会伊那支部 測量設計業協会南信支部	
		資格関係講習 (施工管理)	土木施工管理士(10月)	8月8日、9日	2日	2、3年	希望者	10名	建設業協会伊那支部	建設業協会伊那支部	
		建設技術実践プロジェクト	春日公園噴水跡地改修工事	6月~12月	6回	3年	20		春日公園	建設業協会伊那支部	
	箕輪進修高等学校	現場見学	建設現場		11月	半日	1年	20		箕輪町災害復旧工事現場	建設業協会伊那支部
		企業実習 (インターンシップ)	就労希望者の体験		7月~8月	3日	2年	希望者		上伊那地域	建設業協会伊那支部
飯田	飯田OIDE長姫高校 (社会基盤工学科)	現場見学	土木の日 建設現場見学会		11月	半日	2年	36		下伊那地区	建設業協会 飯田建設事務所
		実務実習 (測量設計等)	最新測量器 実技講習会		7月	1日	3年	36	36	校内・周辺	測量設計業協会
		実務実習 (工事施工等)	松川アダプトプログラム		9月~12月	週1回 半日	3年	7		松川河川敷	
		実技講習 (重機操作等)	建設重機操作 体験講習会		12月or1月	半日	1年	39		校内	建設業協会
		企業実習 (インターンシップ)	インターンシップ		8月	2日	2年	36		下伊那地区	建設業協会 測量設計業協会
		行政職場体験	インターンシップ		10月	2日	2年	6		飯田建設事務所	飯田建設事務所
		専門講習 (工事施工等)	刈払機作業安全衛生教育講習		6月	1日	2年	36	36	校内	建設業協会
		一般講習 (全般)	建設現場安全教育実技講習会		9月	半日	3年	36	36	校内	建設業協会

担当事務所	実施高校	項目	実施概要	時期(月)	期間	対象学年	予定人数(人)	参加実績(人)	場所	協力団体	
飯田OIDE長姫高校(建築科)		資格関係講習(施工管理)	2級土木施工管理技士補 試験準備講座	8月	2日	2年3年	40	17	校内	建設業協会	
		建設技術実践PJ	松川おいでなんしょプロジェクト(松川河川敷ランニングロード舗装施工)	9月~1月	週1回 半日	3年	8		松川河川敷	建設業協会 測量設計業協会 飯田建設事務所	
	飯田OIDE長姫高校(建築科)	現場見学	土木の日 建設現場見学会		11月	半日	2年	38		下伊那地区	建設業協会 飯田建設事務所
		企業実習(インターンシップ)	インターンシップ(校内にて新型コロナウイルス感染者が確認されたため中止)		8月	2日	2年	20		建設会社など	建設業協会 測量設計業協会
		行政職場体験	インターンシップ(校内にて新型コロナウイルス感染者が確認されたため中止)		8月	2日	2年	8		飯田市 飯田建設事務所	飯田市 飯田建設事務所
		一般講習(全般)	建設現場安全教育実技講習会		12月	半日	3年	38		校内	建設業協会
		一般講習(全般)	講演会(女性技術者)(建築関係)		12月	半日	2年	38		校内	建設業協会
		資格関係講習(施工管理)	2級建築施工管理技士補 試験準備講座		8月	2~3日	3年	38		校内	建設業協会
木曾	木曾青峰高校	実務実習(測量設計等)	丁張実習		6月	1日	3年	32	32	校外	建設業協会 木曾支部
		専門講習(測量設計等)	CAD実習		6月	半日	3年	16	15	校内	建設業協会 木曾支部
		実技講習(重機操作等)	刈払い機安全技能実習講習		10月	半日	1年	26		校内	建設業協会 木曾支部
		専門講習(測量設計等)	測量技術講習		10月	半日	2年	16		校内	測量設計協会 中信支部
		現場見学	砂防堰堤工見学		5月~11月	半日	3年	19		校外	建設業協会 木曾支部
安曇野	南安曇農業高校	工事現場見学	工事現場見学		7月28日	半日	1	40	40	別途検討(市内)	建設業協会
		工事現場見学	橋梁工事現場見学		6月23日	半日	2	25	33	別途検討(市内)	建設業協会
		資格関係講習	2級土木施工管理技士補 試験準備講座		10月	3日	3	25		校内	建設業協会
		企業実習	インターンシップ		7月~8月	3日	2	41		中信地区	-
		行政職場体験	県・市町村		7月~8月	3日	2	41		中信地区	-
		現場実務実習	鉄筋結束		9月1日	半日	2	33	33	校内	建設業協会
		現場実務実習	型枠製作		9月8日	半日	2	33	33	校内	建設業協会
		実技実習	建設重機の運転実務		9月15日	午後	2	33	33	学校の第2農場内	建設業協会
		展示	学祭での重機等の展示(ロータリ除雪機、パネル)		10月2日	1日	-	-		学校	-
		専門分野講習	測量技術講習会、GNSS基準点測量		10月6日	1日	2	33		学校の第2農場内	測量設計業協会
		現場実務実習	U字溝設置		11月17日	半日	2	33	33	学校の第2農場内	建設業協会
		建設技術実践PJ	トータルステーション測量実習 校内通路のリニューアル		6/17、6/24、7/1	3日	3	9		校内	測量設計業協会
大町	池田工業高校	現場見学	建築現場を希望		7月14日	半日	2年	20	20	大北地域	建設業協会大北支部
		実技講習	重機体験等		9月	半日	2年	20		大北地域	建設業協会大北支部
		資格関係講習(施工管理)	2級建築施工管理技士補 試験準備講座		8月	未定	3年	20			建設業協会大北支部
須坂	須坂創成高校	実技講習(重機操作等)	バックホウ操作実習		8月22日	半日	2年3年	29 32		校内実習地	建設業協会 須坂支部
		実技講習(重機操作等)	ICT機器測量実習		8月22日	半日	2年3年	29 32		校内実習地	建設業協会 須坂支部
長野	長野高専	現場見学	施工現場(内容相談)		11月	1日	3年生	45名		県内	
		実務実習(測量設計等)	現地での測量		11月	1日	3年生	45名		県内	
		企業実習(インターンシップ)	建設関係のインターン		7-9月 10月以降	5日間 4ヶ月	1-4年生 専攻1-4年生	数名	25	県内	
		行政職場体験	インターン		7-9月 10月以降	5日間 4ヶ月	1-4年生 専攻	数名	10	県内	
		専門講習(測量設計等)	実務者による講義		9~1月	別途協議	5年生	数名		長野高専	
		専門講習(工事施工等)	実務者による講義		9~1月	別途協議	4年生	40名		長野高専	

担当事務所	実施高校	項目	実施概要	時期(月)	期間	対象学年	予定人数(人)	参加実績(人)	場所	協力団体	
長野県長野工業高等学校 (建築工学科)		資格関係講習(施工管理)	試験対策	7~8月	別途協議	5年	数名		長野高专		
		企業説明会	業界セミナー、仕事の楽しさ	10~12月	別途協議	1-4年生	40名		長野高专		
		現場見学	中~大規模の建築現場見学	11月25日	半日	1年3年	40 41		北信地区		
		専門講習(測量設計等)	積算実務講習	7月頃	3時間×2程	2年	40		校舎内	県建設業協会	
		専門講習(工事施工等)	施工図講習	未定	3時間×2程	3年	41		校舎内	県建設業協会	
		企業実習(インターシップ)	企業実習	夏期休業中	1~3日	2年	40	40	北信地区	建設業協会長野支部	
		業界説明会	業界セミナー	11月8日	1時間	2年	40		校内	建設業協会長野支部	
		現場見学	リモート現場見学	8月30日	1時間	2年	40	40	リモート	大東建託(株)	
		現場見学	住宅工事現場見学	6月9日	3時間	2年	40	40	長野市内	池田建設(株)	
		建設技術実践プロジェクト	住宅設計プランニングへの参画	通年	3時間/回	3年	数名		校内・校外	池田建設(株)	
		意見交換・交流等	女性技術者との交流	未定	2時間	全学年	希望者		校内	建設業協会女性部会	
		資格関係講習(施工管理)	2級施工管理技士学科	夏期休業中	3日間	2年3年	希望者	中止	長野市内	県建設業協会	
	長野県長野工業高等学校 (土木科)		現場見学	土木工事現場見学	通年	半日	全学年	各40名		北信地区	建設業協会長野支部
			企業実習(インターシップ)	企業実習	夏期休業中	1~3日	2年	希望者約60名	39	北信地区	建設業協会長野支部
		行政職場体験	職場体験	夏期休業中	1~3日	2年	希望者		県・市	長野県・長野市	
		専門講習(測量設計等)	UAV講習	10月	半日	1年	40		校内	市内企業	
		専門講習(測量設計等)	丁張設置研修	6月	1日	3年	38	39	校内		
		専門講習(測量設計等)	土質試験他研修	5月	1日	3年	38	39	校内	市内企業	
		専門講習(工事施工等)	配筋研修	10月	半日	2年	39		校内	長野県鉄筋業協会	
		専門講習(工事施工等)	型枠設置研修	11月	半日	2年	39		校内	建設業協会長野支部	
		資格関係講習(施工管理)	2級土木施工管理講習	8月	3日程度	2・3年	希望者		校内・市内	建設業協会本部	
		資格関係講習(測量士補)	測量士補講習	4月	2日程度	2・3年	希望者		校内・市内	測量設計業協会	
		業界説明会	測量設計分野、施工分野、公務員分野	10~11月	1時間/回	2年	39		校内		
		建設技術実践プロジェクト	裾花川河川敷整備	6月~12月	3h/日	3年	約12名		校内・校外	長野県	
		意見交換・交流等	女性技術者との交流による入職促進	不定期	半日	全学年	希望者		校内・校外	建設業協会女性部会	
中野立志館			現場見学会	管内工事現場	6月	半日	2	15		管内	建設業協会中高支部
		実務実習	地上3次元レーザスキャナによる測量等	9月	半日	2	15		学校	測量設計協会北信支部	
		現場見学会	管内工事現場	11月	半日	2	15		管内	建設業協会中高支部	
下高井農林		現場見学会	管内工事現場	8月	半日	3	9	7	管内	建設業協会飯山支部	
		実技講習	除雪機操作体験	8月	半日	2	20	19	管内	建設業協会飯山支部	